

日本クリニカルパス学会で発表しました！

第 16 回日本クリニカルパス学会学術集会

2015.11.13～14 於：舞浜

第 16 回日本クリニカルパス学会学術集会へ行ってきました！
今回はクリスマスのイルミネーションが輝く“舞浜”が会場でした

看護部門からは 7 題発表させて頂きました

【発表演題】

- ・肺炎パスにおける嚥下障害の分析と摂食・嚥下パスの作成
- ・肝臓がんを抱え TACE 治療を受ける患者の生活の再建を目指したパス作成の過程
- ・前立腺生検パスの看護記録レビューから心理的サポートを考える
- ・糖尿病再教育入院パスの作成に向けて ～看護アセスメントから見えたこと～
- ・看護の質評価を目指したクリニカルパス作成支援
- ・組織におけるパス活動の可視化 ～活動促進と看護の質への影響～
- ・胃切除 ERAS クリニカルパスで提供されている看護を振り返る



会場はどこも熱気一杯。場所柄、ポスターセッションを担当して頂く座長の先生や学会長の小西敏郎先生（東京医療保健大学）まで大きなお耳で出迎えて下さいました。メインテーマは「未来に向けたクリニカルパス～スマートプラチナ時代の活用を探る～」でした。

2700 人を超える参加者と熱く語り合えた 2 日間、貴重なアドバイスやご質問を頂くことができました。